



私が本学に着任して約1ヶ月後のことでした。所属先の経営学科が新任教員歓迎会を開いてくださいました。小谷先生は乾杯の際に、「そもそもの私の所属は経営学科です。ですので、経営学科は私の心のふるさとでして…」という挨拶をされました。その時に、私は「小谷先生ってすごく謙虚な方やし、相手の立場に立って物事を考えるすごく優しい方だな」と思ったことを覚えています。

数か月後、小雨が降る初夏のある日に、小谷先生と帰り道が一緒になりました。先生は開口一番にこう聞かれました。「研究を進めるにあたって、本学図書館のデータベースに不足はありませんか？」私は「小谷先生って、先生方の研究環境を大事に考えてらっしゃるんだな」と思い、とても嬉しい気持ちになりました。

また、小谷先生は、ある年の卒業式の祝辞のなかで、今後の働き方の在り方に言及されました。その日の夕刻にガラス張りの渡り廊下でたまたますれ違ふと、少しはにかみながら、先生はこうおっしゃってくれました。「テレワークや働き方改革って宮辻先生のご専門でしょう。先生の前で、私がそういう話をするのは何だかな…」私は「なんて謙虚なご姿勢の先生なんだろう。僕は若輩者だし、研究者の端くれだけど、一専門家としてリスペクトしてくださっているんだな」と思い、やはりとても嬉しい気持ちになりました。

夕日に照らされた小谷先生のお姿は、まさに後光が差し込んでいました。私はそのお姿をこれから一生忘れることはありません。こうしたやり取りを通じて、私は次第に「この人のために汗をかきたい。いつか小谷先生のような70歳になりたい」と考えるようになっていきました。こうして私の態度や行動は、小谷先生が学長をしている組織に対して貢献しようというように変化していきました。

こうした変化は、リーダーシップの理論で分析することが可能です。おおよそ研究者間で合意が得られているリーダーシップの定義は他者へ影響を与える(acts affect)ことです。それを通じて、他者のモチベーションや能力を修正(modifies)します。つまり、私は小谷先生に影響力を与えられて、着任の1か月後からモチベーションや能力を様々に修正されていったということになります。

換言すれば、上記のような小谷先生の言葉や姿勢、態度等がゼロだと仮定すれば、私の組織に対する貢献度合いは相対的に低かっただろうと推論することができます。こうしたリーダーシップは、かける言葉や態度に工夫をすればそれで終わりです。つまり、費用は発生しません。ですので、コストがゼロながらも組織成員のパフォーマンスを向上させることができます(ただし、学術的な批判もあります)。企業経営において研究開発や設備投資、採用や育成などは欠かせませんが、同時に費用が発生します。ですが、まずは費用をかけずにできることをする、そうした視座も企業経営では要請されます。

ところで、皆さんは汗をかきたくなる理想の上司がいらっしゃいますか。そうした上司はどのような行動特性を持ち、どのようにして皆さんに影響力を与えているのでしょうか。また、皆さんはそうした上司のようになってみたいと思われませんか。先に書いたことを体験した私はなりたいたいと思います。それでは、私は何をどのようにすれば、汗をかきたくなる理想の先生あるいは上司になれるのでしょうか。その詳細は、皆さんの機会が合えば、「人材マネジメントの基礎」の「第3回リーダーシップ論」でお話しできればと思います。

>>次号は、3学期「明日から活かせる戦略思考」講師 岡本 康昭先生が担当されます。

## ◆今週の一冊◆

宮辻先生おすすめの書籍です。



『U 理論——過去や偏見にとらわれず、本当に必要な「変化」を生み出す技術』オットー・シャーマー著 英治出版

600 ページを超えていて、途中で眠くなれば枕としても応用可能です。とても難しい本です。ですが、この本をあえて一言で説明するなら、今という現在は、出現する未来から創造することが可能だということです。通常、人材育成に関連する学習理論は、過去の失敗や教訓をベースに成長を目指します。しかし、U 理論は過去ではなく、いまだ経験していない未来をベースに考えます。

この本を初めて読んだ時は難解過ぎて、背表紙をボロボロにしながらかきました。起こってもいない未来のことをどうやって現在につなげるんだ、と頭を抱えました。ですが、上に書いたコラムをすでにお読みの皆さんであれば、私よりも簡単に読み進めることができると思います。一口に読書といっても様々ですが、時間をかけながら分厚いハードカバーの本を熟読するという読書も良いのではないのでしょうか。

## ◎事務局から◎

2021 年度キャリアアップ・プログラムの受講申し込み受付中です！

一部オンライン講座に変更となりました！

3 学期講座の申込締切は、**12 月 24 日(金)**です。

## ◇2021 年度 3 学期開講科目のご案内◇

※科目名からシラバスを閲覧できます。

### ■「[マーケティング演習](#)」

講師：経営学科 教授 細井 謙一

マーケティングのポイントである「考え方」を「会得」することを目標に、グループワークを通じて実際にマーケティングプランを立案します。

★2022 年 1 月 17 日(月)開始(毎週月曜全 6 回)

### ■「[原価計算論の基礎](#)」**オンライン講座(オンデマンド)**

講師：経営学科 教授 棚橋 慶太

原価とは何か、どう計算・管理するのかを学ぶことで、コスト意識を高め収益向上を図る、効率的な企業経営

を考えます。

★2022年1月18日(火)開始(毎週火曜日全6回)

### ■「実践的広告戦略立案の応用」

講師:メディアビジネス学科 教授 北野 尚人

広告やプロモーションに関するセンスは人生を豊かにしてくれるかもしれないと思う人を対象に、演習を中心にした講義で広告の応用の仕方について学んでいきます。

★2022年1月18日(火)開始(毎週火曜日全6回)

### ■「中級 法人税」

講師:経営学科 准教授 福田 正太郎

主にグループ経営をおこなっている(これから考えている)経営者の方、経理担当者向けの講座になります。様々な事例を用いながら、グループ経営に必要な法人税等の主要な項目を学びます。国際課税制度も含まれますので、充実した講義内容となります。

★2022年1月12日(水)開始(毎週水曜日全6回)

### ■「人材マネジメントの基礎」

講師:経営学科 准教授 宮辻 渉

経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)のなかでもヒトは他の経営資源とは異なる性質をもっています。本講座ではヒトのマネジメントの理論に関する理解と実践での活用を目指します。

★2022年1月12日(水)開始(毎週水曜日全6回)

### ■「明日から活かせる戦略思考」**オンライン講座(ハイブリッド(リアルタイム3回とオンデマンド3回))**

講師:経営学科 教授 岡本 康昭

ビジネスの現場で様々な課題と向き合ったときに的確にかつ早く物事を把握する「型」を習得します。様々な事例などからフレームワークを策定し、議論しながらフレームワークをブラッシュアップしていきます。

★2022年1月13日(木)開始(毎週木曜日全6回)

第1回(1/13)、第4回(2/3)、第6回(2/17):リアルタイム

第2回(1/20)、第3回(1/27)、第5回(2/10):オンデマンド

### ■「知的財産権ビジネスの基礎」**オンライン講座(オンデマンド)**

講師:メディアビジネス学科 教授 井上 英之

大きく変貌しつつある知的財産権(主として著作権)ビジネスについて、現状と今後について概観し、知的財産権ビジネスのベンチマークといえるディズニーのビジネスを紹介。ワークショップを通じて知識の定着化と知的財産権ビジネスの今後に関する独自視点醸成を図ります。

★2022年1月13日(木)開始(毎週木曜全6回)

## ■「よくわかる行動経済学入門」オンライン講座(リアルタイム)

講師:経済学科 准教授 山根 智沙子

2017年のノーベル経済学賞「行動経済学」について学んでみたい方のために、さまざまな事例から、行動経済学が何を明らかにしているのかを紹介します。

★2022年1月14日(金)開始(毎週金曜全6回)

2021年度1学期の講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2021年度の受講をご検討の皆さまは、ぜひこちらをご覧ください、受講の参考にしていただけたらと思います。

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/voice2015.html>

※詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp)

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)